

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 2月 27日

公表: 令和 6年 3月 20日

事業所名 ジーニアスラボ道徳校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		ニーズに合わせて場を分けてい	一人になりたい時の場の提供をしていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	5			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	1		清潔感を出せるよう、修理・清掃を随時行う。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	3	個別支援計画を基に職員間で情報を共有し、目標に取り組んでいる。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			保護者様の意見に寄り添っていきけるよう、家庭連携を続けていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			毎年、事業所の会報やHP等で公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		5		職員間で共有を行いながら、業務改善に取り組んでいく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2	社内研修及び外部講師による研修を受講できる機会を設けている。	今後も継続していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	5			職員間で共有を行いながら継続していく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5			各児童に合わせて対応していく。
	12	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに沿って、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	様々な活動を考え、立案し、展開している。	事業所内だけでなく、会社全体で考えられるよう話し合っていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5		毎月様々な視点から考えている。	マンネリ化しないよう、時代に合った活動を随時取り入れる。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	その日の状況によって活動を考えたりしている。	集団で遊ぶ中でも目標を決め、目標に向かって行動できるよう準備していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	2	朝礼時に各位確認を行っている。	今後も継続して行っていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1	終礼時に情報を確認している。	今後も継続して行っていく。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	施設内の連絡網で情報共有し、保存している。		

20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	保護者と密に面談を行っている。	
----	--	---	-----------------	--

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			今後も継続して行っていく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	3	2		更に連携を取れるよう努めていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				該当なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				該当なし
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4		連携をとる事が少なかったので、連携できるよう努める。
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		卒業後の進路の方との関わりを増やしていく。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3		連携を深めていけるよう努める。
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	4	社内交流は多数している。	社外交流が少ないので、ニーズに合わせて行っていく。
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	以前より参加するようになり、意見交流の場を増やしている。	参加を続け、職員成長の場を設ける。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5		送迎の際、気になる点について話し合いを行っている。	今後も継続して行っていく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	3	様々な連絡ツールを生かして対応方法の提供をしている。	将来も見据えた上で関わりを持っていけるよう、職員の学びの場を増やし、助言できるよう努めていく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5		難しい言葉や専門用語は避け、分かりやすい言葉で説明を行っている。	今後も継続して行っていく。
	33	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5		普段から話しやすい関係性の構築に努めている。	職員間で共有をしながら続けていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		5		以前あった父母会ができるよう、努める。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			相談や問題があった際は速やかに対応できるようにしている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			今後も継続して行っていく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5		鍵付きの書庫への保管を行っている。	今後も継続して行っていく。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5		口頭で伝える以外にも方法を試行錯誤している。	一人一人にあった方法を見つけ、共有していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		5	ゴミ拾い活動等で、関わりは増えている。	地域交流を深められるよう努める。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	2	3	活動を考え、運営している。	楽しみながらも学べる場を増やし、興味を持ってもらえるよう努める。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	3		避難訓練が少なかったので、増やしていく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	5		フェイスシート、アセスメントシートに記入していただいている。	今後も継続して行っていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	保護者様へ連絡を行っている	医師の判断に基づけるよう、連絡を取っていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	日々の振り返りで共有している	今後も継続して行っていく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5		虐待防止委員会を置いている	今後も継続して行っていく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	5		予めパニックになりそうな児童には保護者に伝えている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。